

## ～ 企画提案に向けてのポイント ～

この表は、企画段階から押さえておきたいポイントをまとめたものです。

このポイントをもとに企画を考え、企画提案会で説明するとわかりやすいと思います。

|   | ポイント                                                                                       | 説 明                                                                                                                                                                                     |
|---|--------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | <b>「課題」の解決</b><br>市民自主学級・市民自主企画事業は、地域や社会の課題について、その解決に向けた学習を行うものです。                         | ○今、地域や社会のどのような課題の解決に向けて、どのような学習が必要なのかを考えて企画しましょう。<br>※個人的な趣味やスポーツ・レクリエーションを目的とした事業は原則として対象になりません。                                                                                       |
| 2 | <b>公益的な事業</b><br>市民自主学級・市民自主企画事業は教育文化会館・市民館・分館が市民と協働で実施する公的な社会教育事業です。                      | ○公の事業として、市の予算や公的な施設などを使って行いますので、多くの市民が学ぶことを望んでいる企画や学習の成果が広く地域へ拡がることが期待できる企画を考えましょう。<br>※提案グループへの助成や活動補助を目的とした事業ではありませんので、日常活動や内部研修、会員募集などの企画は対象になりません。                                  |
| 3 | <b>地域づくりへの発展</b><br>市民自主学級・市民自主企画事業は、生涯学習・市民活動を推進し、地域づくりへの参画を支援するものです。                     | ○学びの成果が個人にとどまらないように、参加者同士や関係する人々が出会い、交流し、話し合うことができるように工夫しましょう。<br>○事業終了後に、地域における市民の学びの場づくりやボランティア等の市民活動などの社会参加につながるように工夫しましょう。                                                          |
| 4 | <b>市民と市民館の協働</b><br>市民自主学級・市民自主企画事業は、市民と市民館が協力して企画・運営していくことにより市民の参画力を高め、新しい公共性の確立を目指しています。 | ○市民館と協働で事業を行うことにより、提案グループがこれまでの活動で培ってきた経験やノウハウを活かし、学習の成果をより高めるように工夫しましょう。<br>○市民館と提案グループが協力し合って、事業を企画し、運営することそのものが学びの場となるように取り組みましょう。<br>※個人提案は、提案会で実施が決定したら企画運営委員を公募して市民館と協働で実施していきます。 |
| 5 | <b>地域を活かす</b><br>市民自主学級・市民自主企画事業は、地域の特性に応じた魅力的な事業の実施を目指しています。                              | ○地域には様々な知識、技能、経験を持った方々がたくさん活躍しています。また自然や歴史、伝統芸能など、地域には大切な資源が多くあります。地域の特性や特色を活かして、その地域にふさわしい魅力的な事業を企画しましょう。                                                                              |
| 6 | <b>予算の適正性</b><br>市民自主学級・市民自主企画事業は、適正な予算で効果的な事業の実施を目指しています。                                 | ○講師謝礼、紙や文房具、切手代など、事業実施に必要なものを適正に積算しましょう。<br>○事業で作成したものを個人が持ち帰る場合の材料費や、個人に対して掛ける保険料等の費用については受益者負担とします。                                                                                   |